



島田川工業用水道通水式



ロボテックス



参議院会館・調査視察



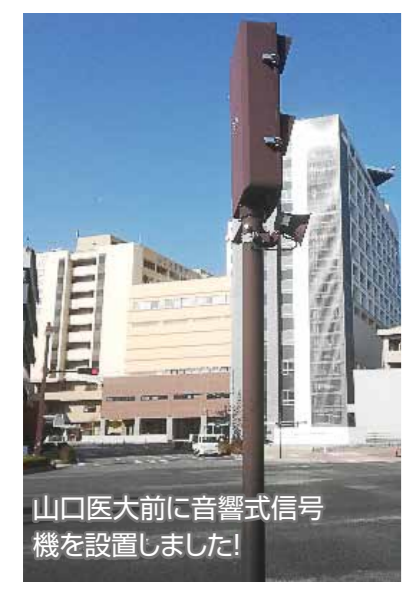
ものづくりスマート化 調査視察



土木建築委員会



スマート工場EXPO



山口医大前に音響式信号機を設置しました!



側溝の整備を行いました!



滑动崩落対策 調査視察



盛土造成地 調査視察

☆☆何でも なおの! すぐやる なおの! ☆☆

\*地域の身近な問題、くらし、介護のご相談など、お気軽にご連絡ください。

山口県議会議員 なおの克事務所

〒755-0073 山口県宇部市中尾 1丁目 7番 8号

Tel・Fax 0836-37-6023

オフィシャルサイト: <https://naono-suguru.com/>



すぐやる HP

発行: 県議会議員 猶野 克



## ● 一日も早いコロナウイルス終息を願って… ●

国民の皆様、県民の皆様の並々ならぬご尽力によって、新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向に転じ、本年5月に、『緊急事態宣言』が全国で解除され、事態は着実に収束に向かうと思われていた矢先、現在、都市部中心に、徐々に感染者数が増加し、まだまだ先行き見えない不安に多くのご相談が寄せられております。

コロナの影響による生活困窮者は増え、上場企業の4社に1社が赤字に転落するなど業種や規模に関わらず多くの事業者が窮地に立たされており、暮らしや経済に対する影響は深刻を極めています。また検査体制の拡充も含め、医療提供体制の整備が不十分なままでの宣言解除に不安の声も多く、あらゆる手立てを講じて迅速な支援を実現するとともに、新たな課題や不安にお応えするための追加対策が求められています。

さらに、今後は「新たな生活様式」の確立に向け、「第2波」「第3波」への備えに万全を期し、これまで積み上げたコロナの教訓を踏まえつつ、経済活動を活性化させなければなりません。本県としてもコロナとの戦いは、長期戦になることも覚悟し、必要な対策を適時適切に講ずることができるよう万全の備えを用意していく必要があります。

本当の意味での「事態の終息」とは、地域の再起動を図り、当たり前の日常を取り戻し、且つ、県民の皆様が心から安心して、明日の日常を過ごす事であります。

その一助となるよう、6月定例会の代表質問をさせていただきますので、ここにご報告申し上げます。



山口県議会議員

猶野 克

## ● 代表質問が新聞記事に! ●

今議会で取り上げました代表質問が、新聞各社に掲載されました。記事内容を一部抜粋させていただきます。代表質問の詳細は、本レポートの次頁以降、ご覧いただけます。



※山口新聞より

**猶野議員 コロナ対応資金を創設 雇用維持、県産品の需要回復を図る**

猶野議員は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を踏まえ、妊婦の検査費用を全額補助するなどの対策を打ち出す。妊婦の検査費用を全額補助することで、妊婦の検査を受けやすくなり、妊婦の健康維持や、産後のケアにも役立つ。また、妊婦の検査費用を全額補助することで、妊婦の健康維持や、産後のケアにも役立つ。また、妊婦の検査費用を全額補助することで、妊婦の健康維持や、産後のケアにも役立つ。

猶野議員は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を踏まえ、妊婦の検査費用を全額補助するなどの対策を打ち出す。妊婦の検査費用を全額補助することで、妊婦の検査を受けやすくなり、妊婦の健康維持や、産後のケアにも役立つ。また、妊婦の検査費用を全額補助することで、妊婦の健康維持や、産後のケアにも役立つ。また、妊婦の検査費用を全額補助することで、妊婦の健康維持や、産後のケアにも役立つ。

※宇部日報より

## 定例議会

代表質問  
ダイジェスト



猶野 克 (なおの すぐる)  
Suguru Naono  
山口県議会議員  
【プロフィール】  
1980年 恩田幼稚園 卒園  
1986年 宇部市立西岐波小学校 卒業  
1989年 宇部市立西岐波中学校 卒業  
1992年 宇部フロンティア大学付属香川  
高校 卒業  
1997年 創価大学法学部法律学科卒業  
1997年 ITコンサルタント勤務  
(~2011年)※1年間、語学留学  
2011年 国分寺市議会議員(初当選)  
厚生委員会、建設環境副委員長を歴任  
2015年 国分寺市議会議員(2期目)  
総務委員長、議会運営委員長を歴任  
2019年 山口県議会議員(初当選)  
土木建築委員会所属



2月・土木建築委員会

## 事業者 雇用者

### Q1. 事業継続と雇用を守る更なる支援について

A) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、売上減少等の影響を受けた中小企業が、事業の継続や雇用の維持をしていくためには、経営の安定に必要な資金繰りに支障を来すことのないよう、金融の円滑化を図ることが極めて重要だ。このため、県制度融資の「経営安定資金」の融資枠の拡大を図るとともに、国の制度を活用して、保証料負担がなく、3年間無利子の「新型コロナウイルス感染症対応資金」を創設するなどの支援を行ってきた。こうした中、国の2次補正予算で「新型コロナウイルス感染症対応資金」への支援制度が拡充されたことから、これを積極的に活用し、融資限度額を4,000万円に引き上げ、融資枠を4,000億円に拡大する。「経営安定資金」の1,200億円と合わせて5,200億円の融資枠を確保し、事業者の旺盛な資金需要に対応した資金繰り支援の一層の強化を図る。今後とも、中小企業を取り巻く経営環境の変化や企業ニーズを的確に捉え、関係機関とも連携しながら、中小企業の金融支援に積極的に取り組んでまいりたい。

## 観光 支援

### Q2. 県内の観光産業支援について

A) 不要不急の外出自粛等により、旅館、ホテル等の宿泊業の需要が大幅に減少するなど、観光産業に甚大な影響が生じている。観光産業は、宿泊のみならず、交通や飲食など関連する業種が多岐にわたり、地域経済に対する影響力が多岐にわたることから、早期回復に向け、落ち込んだ観光需要の喚起や観光客の受入環境整備を強力に進めていく必要がある。このため、観光需要の喚起に向けては、国内の感染状況を踏まえながら、即効性のある取組を積極的に推進していく。この度の感染拡大で深刻な影響を受けた本県の観光を一日も早く回復させるため、市町や関係団体等と緊密に連携しながら、観光産業の支援に全力で取り組んでまいりたい。

## 需要 回復

### Q3. 県産農林水産物の需要回復について

A) イベントの中止や外食需要の減少等により、花きや牛肉、鮮魚等の価格が大幅に下落するなど、農林漁業者の経営に深刻な影響が生じていることから、生産面での支援に加え、速やかに需要を回復し拡大させる取組が重要だ。とりわけ、今後の新たな局面を見据えた大胆かつきめ細かな対策を講じることに、需要を喚起し、消費の拡大に繋げていかなければならない。このため、特に影響が大きい品目を中心に、思い切った地産・地消対策をはじめ、大都市圏への売り込みや新しい生活様式に対応した販売促進など、本県独自の効果的な対策を積極的に展開していく。農林漁業者が安心して生産活動を継続できるよう、関係団体等と緊密に連携し、県産農林水産物の需要の回復・拡大に全力で取り組んでまいりたい。



定例会質疑の模様



6月・代表質問

## 出産 子育て

### Q4. 安心して出産や子育てができる環境づくりについて

A) 妊娠や子育て中の方は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛による出産・育児環境の変化や、胎児や乳幼児への感染の恐れ等により、強い不安を抱えて生活していることから、妊婦等への寄り添った支援を総合的に実施することが重要だ。このため、安心して出産や子育てができる環境づくりに向け、感染防止対策や相談支援体制等の一層の強化に取り組む。希望する妊婦に対し、分娩前のPCR検査費用を全額助成するとともに、感染が判明した妊婦については、専用の分娩監視装置など医療機器の整備により、周産期母子医療センターにおける受入体制を確保する。次に、相談支援体制の充実に向けては、新生児の健康や出産後の育児に対して強い不安を抱える場合が多いことから、県保健師が関係機関と連携し、退院後も継続的な訪問等を通じて、心のケアを含めたきめ細かな個別支援を行ってまいりたい。妊婦や子育て中の方が安心して出産や子育てができるよう、母子保健医療対策の一層の充実に取り組んでまいりたい。

## 避難所 対策

### Q5. 避難所における感染症対策について

A) 近年、自然災害が激甚化、頻発化している中、災害から命を守るためには、県民の皆様が安全な場所に確実に避難していただくことが何より重要であり、新型コロナウイルス感染症が懸念される状況下においても、安心して避難できるよう、避難所における感染症対策の強化が必要だ。マスクや消毒液、体温計など必要な資機材の調達をはじめ、学校の教室など未利用スペースの活用や民間事業者との連携による宿泊施設の確保、さらには感染症対策を踏まえた避難所運営訓練などの取組が進められている。新型コロナウイルス感染症が懸念される状況下において、広域性・専門性の観点から、県としても、積極的に支援していく必要があると考える。

## 学校 行事

### Q6. 高校総体等の代替大会について

A) 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの生徒が目標としていた、夏の全国高等学校総合体育大会や甲子園大会等が中止となり、そのことに伴い県内大会も中止となった。特に、これまで部活動に懸命に打ち込んできた3年生にとって、活動の集大成となる場が失われた喪失感はいくらも計り知れないものがある。こうしたことから、県高体連や県高野連等と協議を重ね、計26競技において「やまぐち高校生2020メモリアルカップ」を開催する。開催に当たっては、一つの目標に向かって仲間と共に取り組んできた高校生を、県民の皆様と一緒に応援していく仕組みを構築するなどして、思い出深い大会となるよう取り組んでまいりたい。また、感染防止対策については、本大会に関わるガイドラインにのっとり、手洗い・室内換気等の基本的な感染防止対策や、事前の健康観察・検温を行うなど、生徒や大会関係者等の安心・安全を確保できるよう努めてまいりたい。



## 代表質問の項目

- 事業継続と雇用を守る更なる支援について
  - (1) 中小企業への金融支援について
  - (2) クラウドファンディングを活用した企業支援について
- 県内の観光産業支援について
- 県産農林水産物の需要回復について
- 新型コロナウイルス感染の長期化を踏まえた、安心して出産や子育てができる環境づくりについて
- 避難所における感染症対策について
- 新型コロナウイルスを踏まえた学校教育の課題について
  - (1) 教員のICT活用に関する指導力向上について
  - (2) 高校総体等の代替大会について
- 犯罪防止対策について

今定例会の代表質問やこれまでの一般質問の内容について、【なおの克県議会議員オフィシャルサイト】に動画を掲載しております。是非、ご覧ください。

なおの克

検索

【なおの克県議会議員オフィシャルサイト】  
<https://naono-suguru.com/publics/index/24/>